

南海トラフ巨大地震に備えて

# 守るけん

# みんなの命 耐震化

耐震改修工事等  
標準的な場合の補助金

合計

# 100万円!



耐震診断は  
3,000円から  
実施できるけん!



木造住宅の耐震診断・耐震改修・耐震シェルター設置工事等について

**どどーん**と補助します! (昭和56年5月以前に着工された木造住宅が対象)



愛媛県 建築住宅課 TEL 089-912-2757

詳細は、お住まいの市役所・役場までお願いします。

県HP▶

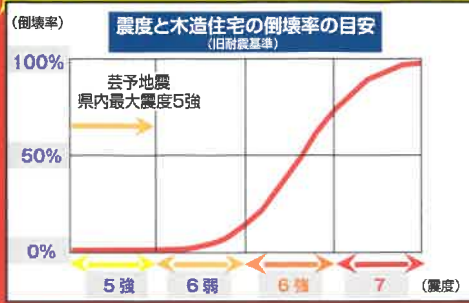


# 耐震改修により倒壊から命を守りましょう!

— 耐震診断・耐震改修には補助制度があります —

※昭和56年5月以前に着工した旧耐震基準の木造住宅が対象です。

(昭和56年5月以前の着工) 旧耐震基準の木造住宅は  
震度6強~7の大地震で  
倒壊する可能性大!



木造住宅耐震化促進事業の流れ

## STEP1

木造戸建て住宅  
(S56.5.31以前に着工されたもの)

耐震診断  
(下記制度から選択)

- ①派遣制度  
自己負担3,000円  
又は9,900円
- or
- ②補助制度  
費用の2/3  
(上限4万円)を補助

診断の結果、倒壊の可能性がある  
(上部構造評点1.0未満)と  
判断された住宅は、STEP2へ



補強設計

## STEP2

全体補強

耐震改修設計  
(一部市町)

上部構造評点1.0未満→  
1.0以上への設計

費用の2/3  
(上限20万円)を補助

補強工事

## STEP3

全体補強

耐震改修工事

上部構造評点1.0未満→  
1.0以上への設計

費用の4/5  
(上限100万円)を補助

耐震改修工事監理 (一部市町)  
費用の2/3  
(上限4万円)を補助



部分補強等

耐震シェルター  
設置工事  
(一部市町)

住戸の1室を補強

定額40万円を補助

設置工事

ブロック塀等

ブロック塀等安全対策工事

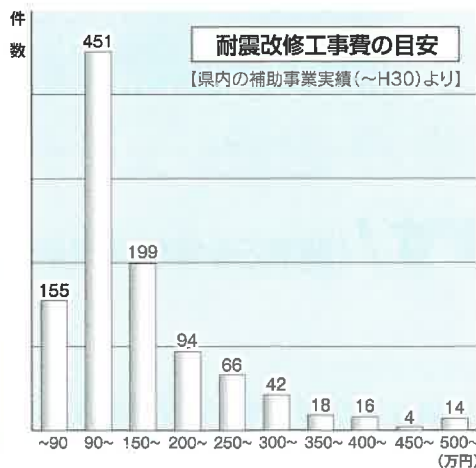
避難路等に面する  
危険ブロック塀等の  
除却又は建替え工事

費用の2/3  
(上限30万円)を補助

※上記制度は令和元年度における県内の代表的な市町の例です。詳細は各市町窓口にお問い合わせください。

## 耐震改修工事費

耐震改修工事費は、住宅の規模や状態により違いがあり、100~150万円程度が最も多くなっていますが、市町の補助制度や税制優遇制度を利用すれば自己負担額を少なくできます。



実際に補助金を活用して、  
耐震補強工事を行った人の声



- 耐震補強をしようと思ったきっかけ  
秋に、ここの中古住宅を購入したのですが、たまたまその時に見た広報誌の一角に、耐震工事の補助制度があるというのが載っていたので、あ〜なんとか、私も!補助金を活用したい!!って思いました。
- 耐震化工事を終えて  
大きな安心がありますし、それから、いろいろな部分でとても快適になり、喜んでおります。公的にも後押しをグンとしていただきました。
- みなさんへ  
耐震改修工事までは、なかなかおっくうかもしれないけど、お家の状況を知るために、まずは、耐震診断をおすすめします。家のことを考えるきっかけにもなります。